

【男性の暮らし方・意識の変革に関する専門調査会】

～男性の家事・育児参画を加速させるために～

2016年12月9日

電通総研
主任研究員 古平陽子

本日は、
主に、**気運醸成の視点**から
発表させていただきます。

本調査会の目的

- **男性の暮らし方・意識の変革が進むことにより、**
 - 女性活躍の推進の加速
 - 男性自身のキャリア形成および暮らしへの寄与
 - 少子化対策として期待できる(第1回資料3-P3、第2子以降の出生率UP)
 - 多様な価値観を持つ人材が増えることにより、
企業／地域／日本の発展につながる

- **数値目標**
6歳未満の子どもを持つ夫の育児家事時間を増やす
 - 2011年67分 → 2020年150分に

気運醸成を考えるにあたって

**「今よりも、男性も家事・育児時間をもっと持った方がよい」
「男性が家事や育児をすることを当たり前にしたい」**

**多くの男性が、そうあるべきだと理解を示しつつも、
すぐには共感してくれない。**

**「個人の家庭の問題でしょ？」
本質的な意味がきちんと理解されていない。**

**ある程度理解をしている人でも、
「女性活躍のために、必要なんだろうけど…」
「男性も変わらなくてはいけないのだろうけど…」
自分ごととして共感されていない。**

気運醸成(特に、合意形成)のポイント

1

「大義に共感」できるか

- 何のために？を理解し、直感的に共感できるか

2

明確な「旗振り役」の存在

- 正解が分からない世の中だからこそ、明確な「旗振り役」についていきたい

3

その「仲間」の存在

- ひとりの力／ひとつの組織の力よりも繋がって力を合わせるの方が勝ち技

生活者
企業／民間団体
自治体／地域

【背景】

生活者の「参加意識」の高まり。
SNS／テクノロジーの普及・浸透により、参加も容易。

気運醸成(特に、合意形成)のポイント

1

「大義に共感」できるか

- 何のために？を理解し、直感的に共感できるか

2

明確な「旗振り役」の存在

- 正解が分からない世の中だからこそ、明確な「旗振り役」についていきたい

3

その「仲間」の存在

- ひとりの力／ひとつの組織の力よりも繋がって力を合わせるの方が勝ち技

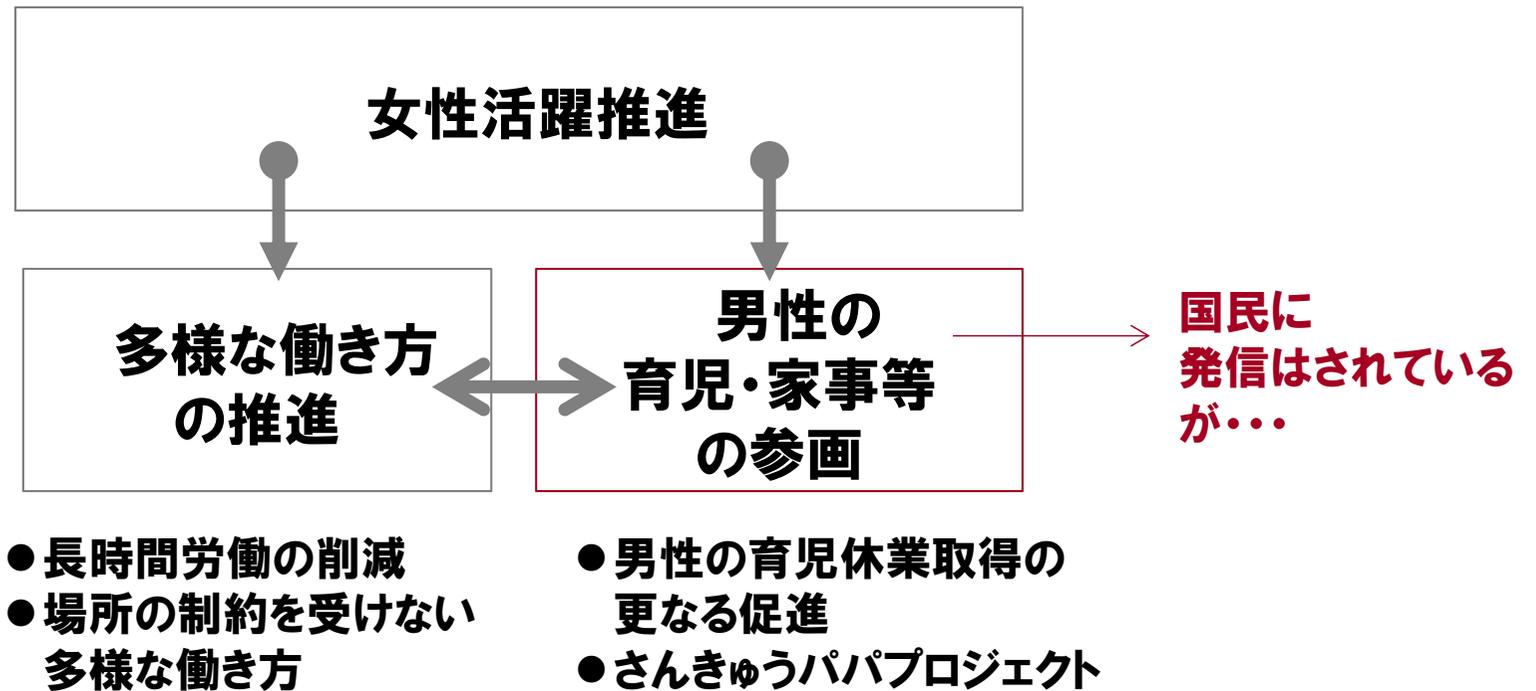
生活者
企業／民間団体
自治体／地域

【背景】

生活者の「参加意識」の高まり。
SNS／テクノロジーの普及・浸透により、参加も容易。

生活者に「大義」は、きちんと伝わっているのか？

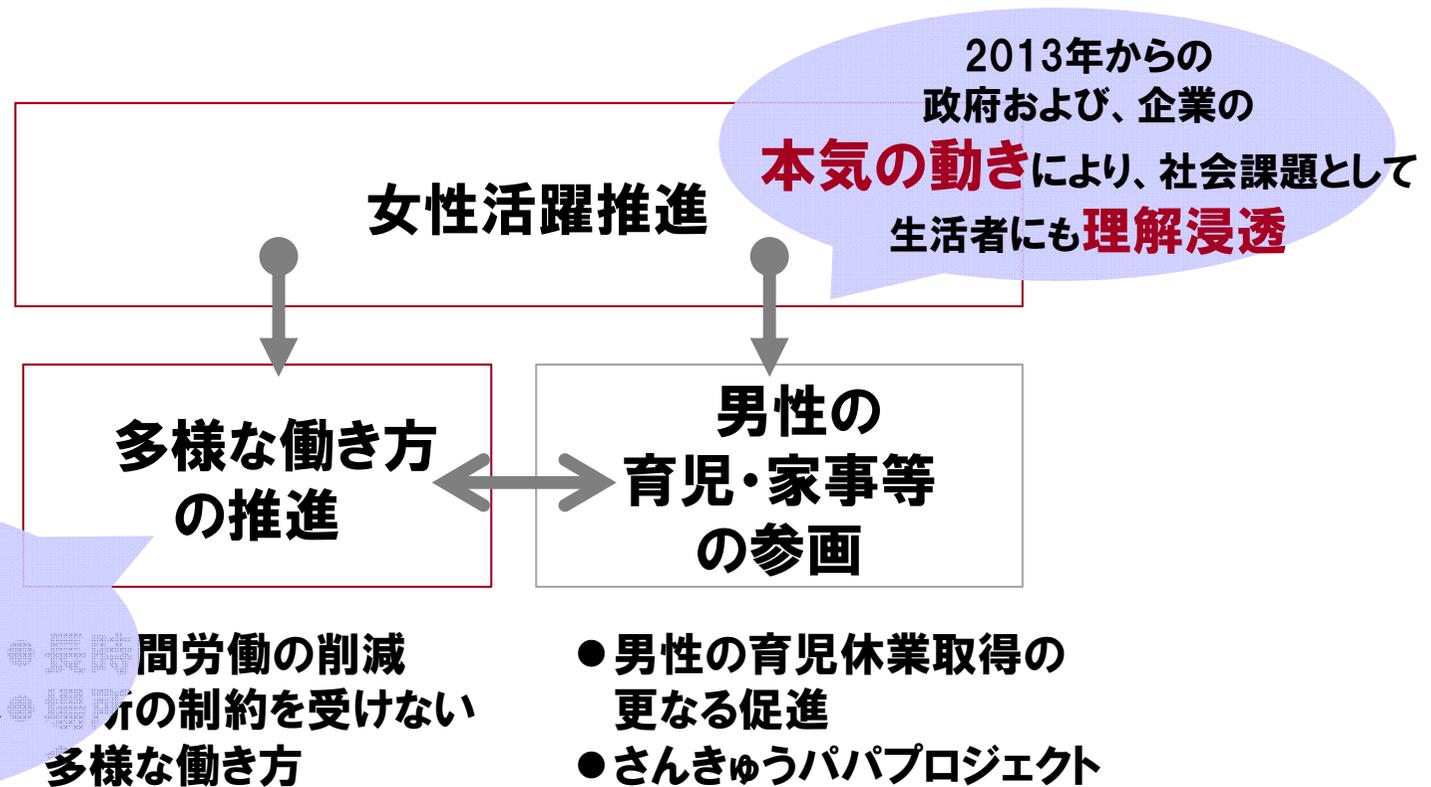
女性活躍加速のための重点方針2016（抜粋）



※女性活躍加速のための重点方針2016を参照

生活者に「大義」は、きちんと伝わっているのか？

女性活躍加速のための重点方針2016（抜粋）

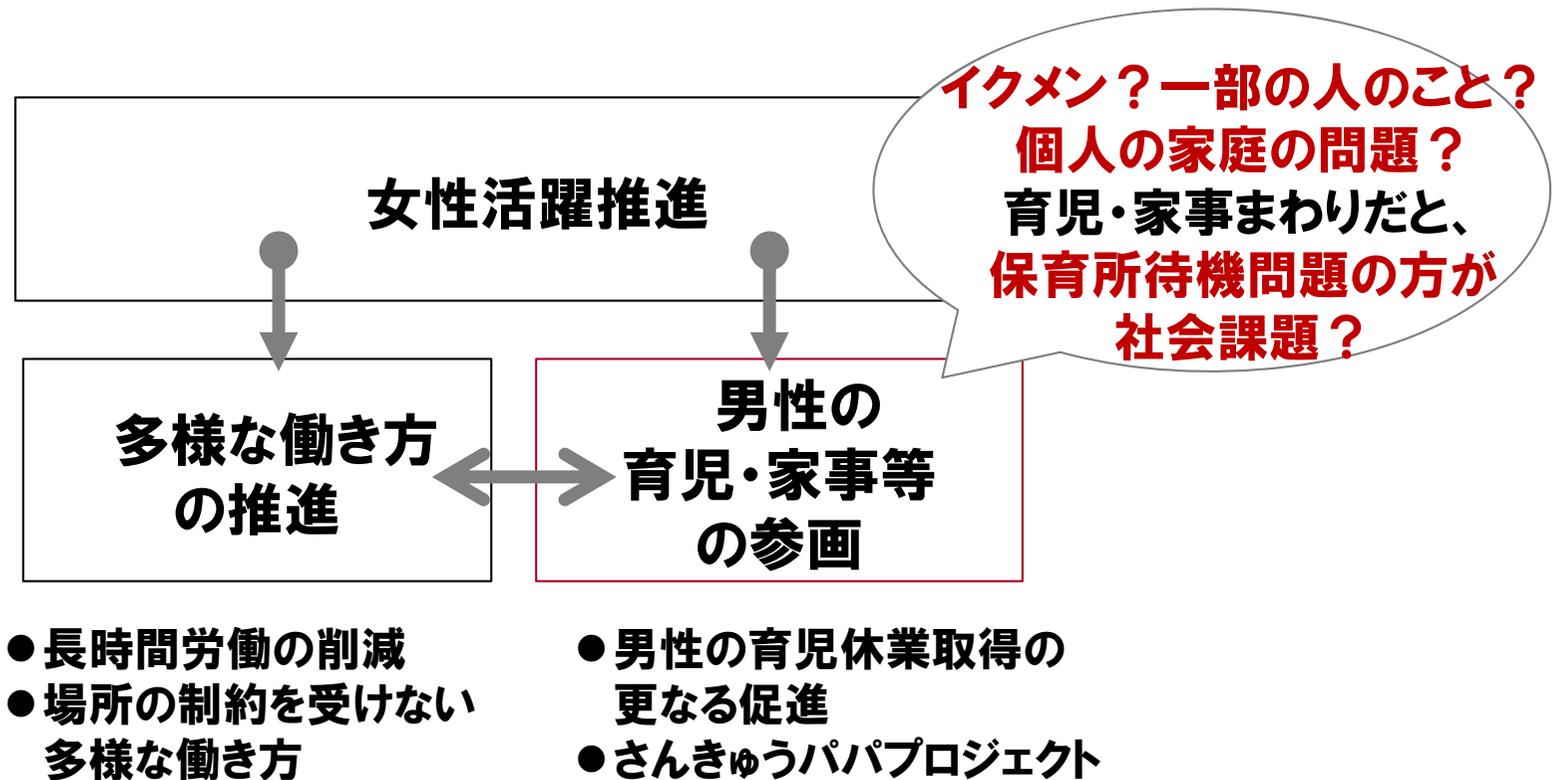


上記2つは、生活者に、「大義」が伝わり、
アジェンダとしてセット(社会課題として認識されている)されている状態

※女性活躍加速のための重点方針2016を参照

生活者に「大義」は、きちんと伝わっているのか？

女性活躍加速のための重点方針2016（抜粋）



「男性の家事・育児」参画は、
多くの生活者にとって、その大義は理解されておらず、
アジェンダとしてセットされていない（社会課題として認識されていない）状態

※女性活躍加速のための重点方針2016を参照

男性を取り巻く環境の「変化」

ワーク・ライフ・バランス/
イクメン定着前

男性が
家事や育児をすることは、
想像できない

男性が
家庭とのバランスを
取る働き方は、
想像できない



2007年
仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)憲章

- ✓ WLBの浸透と
両立支援制度
の整備・充実
- ✓ イクメン/イクボス
- ✓ 男性が育児を
することがカッコいい
というスタイル提案
- ✓ 女性活躍推進
- ✓ IT環境/デジタル
環境の進化

2016年 現在

(自分がするか、しないかは別として)
男性が
家事や育児をすることは、
増えてきているし、
アリであるという感覚へ

(職場により差はあるものの)
共働きも増え、
夫婦で
家事や育児をシェアする
人も増えてきている



男性を取り巻く環境の「変化」

ワーク・ライフ・バランス/
イクメン定着前

社会課題・生活者自身の

気持ちにおいても

共感を得ていた

仕事中心の生活の

窮屈さをなんとかしたい

パパだって本当は育児をしたい

✓ イクメン/イクボス

✓ IT環境/デジタル
環境の進化

2016年 現在

(自分がするか、しないかは別として)

男性が
家事や育児をすることは、
増えてきているし、
アリであるという感覚へ

(職場により差はあるものの)

共働きも増え、
夫婦で
家事や育児をシェアする
人も増えてきている



新しい刺激／メッセージが必要

**社会課題として
アジェンダを再セットしつつ、
生活者の共感を得る**

**新しい刺激／メッセージ
が必要**

?

未来

夫婦で
家事や子育てをシェアする
のは、
当たり前！



**これからの男性の家事・育児参画を
牽引していくパパ**
(インフルエンサー/トリガーとして機能するパパ)
**の家事・育児参画状況は、
どうなっているのか？**

**その姿から、
「未来」
を考えたいと思います。**

共働きパパへのデプス・インタビュー
(2016年11月実施、育休取得パパ含む)
および、
電通総研／ターゲットインサイト研究PJの知見から

パパ達の進化と
そこから見えてきた、今どきの価値観

※共働きパパに注目した理由は、参考資料をご参照ください。

デプス・インタビュー(2016年11月実施)対象者:6歳以下の子どもがいるパパ、妻が有職(パート／産休中育休中含む)、1都3県在住

共働きパパの日々の家事／子育て状況

◆保育園の送迎は、朝の送りだけでなく、**お迎えも夫婦でシェア**

◆お迎えに行く日は、**一連の家事・子育て**をやっている。

- ✓ 妻は残業や飲み会等で遅くなることが多く、
お迎え→ご飯(外食したり、買い物して帰ったり)→お風呂→
寝る支度→寝かしつけ→食事の片付けまでの全部行う。

◆育児だけでなく、**家事**も行っている。

- ✓ お互い、**好きな家事**を担当していることが多いが、**相談しながら**やっている。
- ✓ 夫婦共に家事が**苦手／嫌いな夫婦は、省エネ**でやっている。

(例)「洗濯モノを畳むことをやめようと夫婦で決めて、靴下の組み合わせもしやすいように全部、同じ靴下にした。」

「家の本棚の延長にツタヤがあるように、家のキッチンの延長で、駅周辺のファミレスやお店がある感じ」

- ✓ 週末は、**家族で一気に(同時に)家事**をして、**みんなで**出かける。

◆妻が**産休／育休中**(二人目以上)の場合も、**妻任せではない**。

- ✓ 上の子の保育園の送りは自分。
- ✓ 保育園に送った後に、スーパーに買い物に行き、その後に出社する 等

①家事や育児は、幸せに暮らすための「**方法論**」であり、日々の生活で、やりながら**方法論に磨きをかけている**。

- ✓ 妻に嫌々やらされているわけではない。
- ✓ 自分にやりたいことがある(家庭以外の時間がある)のと同じように、**妻のやりたいことを応援・尊重したい**。
その方が、**自分も家族も幸せ**になれる。

②家の中のことは、「**1プロジェクト**」として楽しんでいる。

- ✓ 女性よりも、仕事感覚として捉えている傾向
- ✓ 仕事か家庭かではなく、**仕事も家庭も、他のことも全部大事**

③プロジェクトを上手く回したい／楽しくしたいと思えば、
方法は工夫するし、
そのための「**システムは、自分で考えたい**」。

④夫婦のコミュニケーションを「**情報**」という捉え方もしている。
夫婦で**情報格差がないこと**が家事・育児をシェアする上で**重要**。

共働き世帯の夫婦の「情報」やり取り

LINEの「アルバム」にて、
保育園の園便りを共有

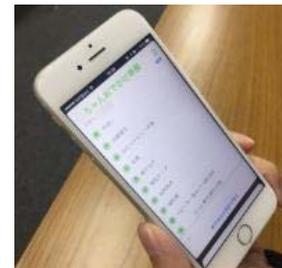


タイムツリー(アプリ)で、
・自分
・妻
・子ども の予定を共有



夫婦の予定だけでなく、
子どもの予防接種の
予定等も共有

iPhoneの「リマインダー」で
子どものお出かけに必要な
ものリスト化
→これを見て、準備をする



iPhoneの
「リマインダー」で
買い物リストを共有



翌月のお迎え担当者を
エクセルで管理

日付	曜日	担当者	保育園名
2016/04/04	月	ママ	保育園A
2016/04/05	火	ママ	保育園A
2016/04/06	水	パパ	保育園A
2016/04/07	木	ママ	保育園A
2016/04/08	金	ママ	保育園A
2016/04/09	土	ママ	保育園A
2016/04/10	日	ママ	保育園A
2016/04/11	月	ママ	保育園A
2016/04/12	火	パパ	保育園A
2016/04/13	水	ママ	保育園A
2016/04/14	木	ママ	保育園A
2016/04/15	金	ママ	保育園A
2016/04/16	土	ママ	保育園A
2016/04/17	日	ママ	保育園A
2016/04/18	月	ママ	保育園A
2016/04/19	火	ママ	保育園A
2016/04/20	水	ママ	保育園A
2016/04/21	木	ママ	保育園A
2016/04/22	金	ママ	保育園A
2016/04/23	土	ママ	保育園A
2016/04/24	日	ママ	保育園A
2016/04/25	月	ママ	保育園A
2016/04/26	火	ママ	保育園A
2016/04/27	水	ママ	保育園A
2016/04/28	木	ママ	保育園A
2016/04/29	金	ママ	保育園A
2016/04/30	土	ママ	保育園A
2016/05/01	日	ママ	保育園A
2016/05/02	月	ママ	保育園A
2016/05/03	火	ママ	保育園A
2016/05/04	水	ママ	保育園A
2016/05/05	木	ママ	保育園A
2016/05/06	金	ママ	保育園A
2016/05/07	土	ママ	保育園A
2016/05/08	日	ママ	保育園A
2016/05/09	月	ママ	保育園A
2016/05/10	火	ママ	保育園A
2016/05/11	水	ママ	保育園A
2016/05/12	木	ママ	保育園A
2016/05/13	金	ママ	保育園A
2016/05/14	土	ママ	保育園A
2016/05/15	日	ママ	保育園A
2016/05/16	月	ママ	保育園A
2016/05/17	火	ママ	保育園A
2016/05/18	水	ママ	保育園A
2016/05/19	木	ママ	保育園A
2016/05/20	金	ママ	保育園A
2016/05/21	土	ママ	保育園A
2016/05/22	日	ママ	保育園A

LINEでの
細かな情報共有



画像:LINE HPより

・さっき、〇〇ちゃんを
怒っちゃった(ママ→パパ)
・保育園でケンカしちゃった
らしい(ママ→パパ)

画像:デブインタビュー対象者提供
(個人情報を削除するため、一部加工)

「子どもの予防接種の予定」や「夕方ママに怒られた話」等は、
=子どもとの会話に必要な「重要な情報」
「プロジェクトと同じですよ。知らないと知っているとは、話しかけ方や対応の仕方が違いますよね。」

⑤ **デジタルツール**の存在は欠かせない。

- ✓ 「仕事」と「家庭」で使うデジタルツールの境界線は、
なくなりつつある。
- ✓ 仕事で使っているツールを家庭に持ち込んでいることが多い。
- ✓ 仕事と家庭でツールの使い分けをしている人もいるが、
どちらかでしかつかえないツールは、使い勝手が悪いと
判断されることも。

(予測)

今後益々、「仕事(職場)」と「家庭」の境界線がなくなる。

⑥働き方は、結果的に「**短時間勝負の働き方**」になっている。

- ✓ 残業が減ったり、定時退社も増えている
- ✓ 世の中からは、**仕事よりも家庭を取った人／仕事ではあまり成果を出していない人という誤解を受けがちであるが、自分はそのような意識はない。**（葛藤／ジレンマ／苦戦がある人も）
- ✓ むしろ、「**パフォーマンスがよい働き方**」に挑戦している。
（従来の出世等だけがゴールではなく、目指している働き方は多様。
自分らしく、でもきちんと楽しく成果を出し、職場に貢献する働き方に挑戦。）
- ✓ **最初は躊躇があったが、やってみたら、この働き方はあり！という感覚に変化。**

【背景】 女性活躍推進／2030数値目標

→女性(妻)がワーク・ライフ・バランスを保ち、「より活躍する／成果を出す」ステージへ

⑦ 制度やカタチにこだわっていない。

欲しいのは、「色々な選択肢」と「柔軟な風土」

- ✓ 育休制度を利用せずに、有給制度と代休を活用等

「制度を利用して、その期間に一切仕事は、出来なくなるのは避けたい」

- ✓ これからは、「**選択肢の時代**」

- ✓ **自分のやり方も進化**させていきたい。

社内だけでなく、社外の人ともつながり、**よいアイデア**を家庭にも仕事にも取り入れていきたい。

例:「一日中、オフィスの中には、これからは仕事は創れないと思う。」

「上の世代の人のように、会社だけの人間関係では、視野が狭いし、おもしろいことは出来ない。」等

未来の予測

子育て世代の男性(6歳以下のパパ)および、
その下の年代の男性は、

- **子育てや家事にしっかり関わらないと、
自分の人生において損をする、と気付いている**
 - ✓ 自分たちは、“**上の年代のようになりたくない**”という意識
 - ✓ 共働きであっても、自分達夫婦の手で子育てをしたい意識が強いのも、そのひとつ
- **子育てを入口に、家族にたっぷりコミットし始めれば、
家事もこなせる。**
 - ✓ 分からないことがあっても、スマホがあれば、どうにかなる
- **育休取得する／家事や育児をシェアする働き方をする**
**男性の実態 = 人数が伴ってくれば、面白がって、
それにチャレンジする。**

未来に向けての課題

➤ デプス・インタビューに登場したようなパパがスタンダードになっていないのは、なぜか？

✓ **実態**(育休取得数／家事・育児参画者数)**が伴っていないこと**

✓ **男性が、仕事の時間を家事や子育てにシフトさせることの心理的ハードルが大きい**

(キャリアや昇進への影響／仕事への情熱を減らした人に見られる／周囲からの誤解等)

一言で言うと、現状、男性の家事・育児参画は、個人の必然性／突破力／チャレンジに委ねられている状況。
(だから、マイノリティー)

未来に向けて、行うべきこと

- **男性の家事・育児参画を牽引するであろう、首都圏の共働きパパや育休経験者を増やし、彼らをトリガーに、実態と共に、気運を加速させる必要性がある。**
- **そのためには、当然、企業／職場との連携および、企業側の制度改革は必須。**
 - 男性の育休／産休促進(男性の家事・育児参画促進)
 - WLB／働き方改革のさらなる加速

<課題>

- **一部の企業を除く多くの企業では、まだ、「WLB」「女性活躍推進」までしかアジェンダセットされておらず、「男性の育休／家事・育児参画」が本気のアジェンダとしてセットされていない**
- **経営層にはその認識があっても、従業員には理解されていない**

**社会課題として
アジェンダを再セットしつつ、
生活者の共感を得る**

**新しい刺激／メッセージ
が必要**

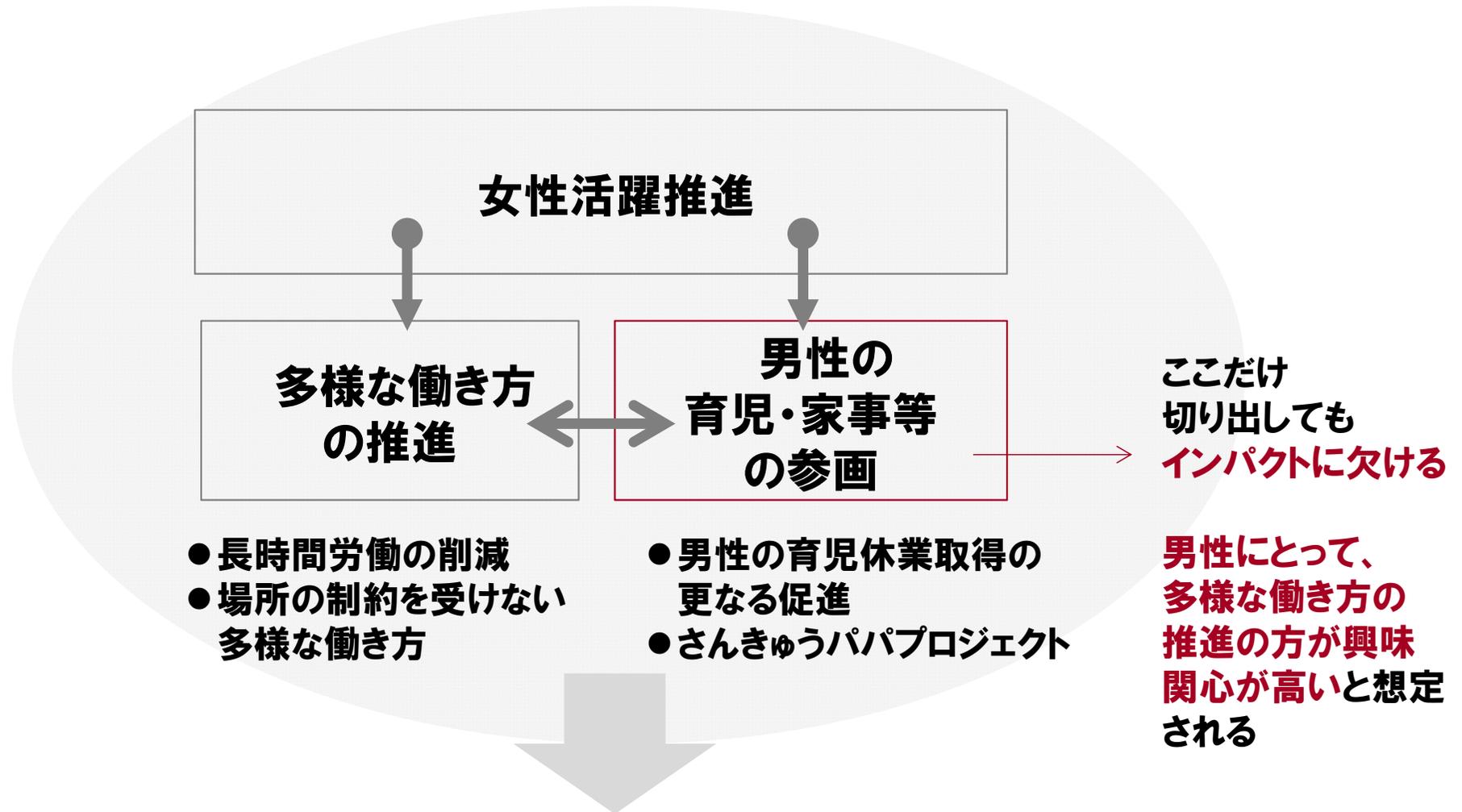
?

未来

夫婦で
家事や子育てをシェアする
のは、
当たり前！



女性活躍加速のための重点方針2016（抜粋）



これらを串刺しするメッセージが欲しい

では、どのようなメッセージで本気にしていくか③

女性活躍加速のための重点方針2016（抜粋）

企業も従業員（特に男性）が
Win-Winになる気分とは？

女性も男性も活躍できる、
柔軟な働き方で、仕事をもっと楽しくしよう。
働き方が変われば、

ワークやライフのカタチ／あり方も変わって、
イノベーションが生まれそう。

ICT技術があれば、今まではできなかったことも出来そう。

これらを串刺しするメッセージが欲しい



要は、

生活者が求めていることは、

「ワークとライフの改革」



提言：ワーク・ライフ・バランスのイメージを進化させるべき時

生活者にとっての「ワーク・ライフ・バランス」のイメージ

<今まで>

- ✓ 家庭と仕事のバランスが取れない／取りにくい等、現在の環境に「課題がある場合」に必要
- ✓ 休暇取得促進／残業削減…等のために、「会社」が必要
- ✓ 結婚や出産等のライフステージの変化があった「女性」に必要

男性にとってポジティブなテーマだと認識されていない点に課題あり。

<これから>

「ワーク・ライフ・バランス」へのイメージを刷新し、

- 女性活躍推進
- (男女共の)多様な働き方の推進
- 男性の家事・育児等への参画を実現する手段であり、男性にとっても、ポジティブなテーマだと意識づけることが重要

再掲：新しい刺激／メッセージが必要

**社会課題として
アジェンダを再セットしつつ、
生活者の共感を得る**

**新しい刺激／メッセージ
が必要**

「WLB2.0(仮)宣言」
～WLBの進化・加速を宣言する～

※ネーミングは、要検討

未来

夫婦で
家事や子育てをシェアする
のは、
当たり前！



では、どのようなメッセージを発信していくべきか①

女性活躍加速のための重点方針2016（抜粋）

女性活躍推進

「WLB2.0(仮)」宣言

「女性の活躍」も「男性の家事・育児参画」もスタンダードに！

そのために、

ICT技術を活用した柔軟な働き方の実現により、
より多様なワークとライフのあり方を皆で
創造していこう！

これらを串刺しするメッセージ

1

アジェンダの再セット ～加速に向けた宣言～

何か
新しく
動き始めた！

「WLB2.0(仮)」宣言

「女性の活躍」も「男性の家事・育児参画」もスタンダードに！
そのために、

ICT技術を活用した柔軟な働き方の実現により、
より多様なワークとライフのあり方を皆で
創造していこう！



- ✓ 政府からの発信
 - ✓ 経済界／企業への働きかけ
 - ✓ 広告等での発信
- 等を想定

参考:「ワーク・ライフ・バランス」について

✓ 社団法人 経済同友会からの提言(2008年)

- WLBは、「仕事と生活」を対立的に捉え、二律背反であるかのような印象を与える点で、まだ十分とは言えない」という指摘
- 21世紀の新しい働き方
「ワーク&ライフ インテグレーション」を目指して

✓ WAW ! 2016のハイレベル・ラウンドテーブルでは、 「ワーク・ライフ・マネジメント2.0」



画像:外務省 HPより

気運醸成に必要なこと(全体像)

1

アジェンダの再セット
～加速に向けた宣言～

何か
新しく
動き始めた!

2

**男性の家事・育児参画の必要性・
理解浸透のための啓発**

なるほど!
参画する必要
あるかも!

3

男性自身への動機づけ

この波に
乗り遅れたら
まずいかも!

4

**家事・育児の
やり方やシェア方法の伝達・啓発**

これなら、
出来そう!
シェアが
スムーズにできそう!

5

**参画の再きっかけ／次世代育成に
寄与する、“新習慣・文化”づくり**

そんな
習慣・文化が
あったら、
いいね!

2

男性の家事・育児参画の必要性・ 理解浸透のための啓発

なるほど！
参画する必要
あるかも！

<課題認識とソリューション>

- 男性の家事・育児参画は、個人の価値観／生き方の話でもあるので、必要性の理解には、**客観的データによる説得力強化**が重要

例：

- 男性の家事・育児参画が国際的に遅れていることの認知拡大
- 男性が家事・育児に参画することの効果／メリット
→既存の研究データがなければ、研究会発足等



✓ 戦略PR／ツール制作を想定

3

男性自身への動機づけ

この波に
乗り遅れたら
まずいかも！

<課題認識>

- 男性が家事や子育てに仕事の時間をシフトさせることの**心理的ハードル**がある(キャリアや昇進への影響/仕事への情熱を減らした人に見られる/周囲からの誤解等)

<ソリューション>

- 家族との時間を持つことは、**特別なことではない/当たり前のこと**であると「**実感・体感**」させる



- ✓ 育児も家事も楽しみながら、仕事も楽しんでいるパパの「**仕事の活躍**」**に見える化**する(フォーラムやプレゼン・アワードの開催等)
- ✓ 経営層/トップからのメッセージ発信による啓発
(「プライベートを大事にしない人は、面白い仕事ができないぞ!」等)
- ✓ 戦略PR



画像:TEDxUTokyo HPより

4

家事・育児の やり方やシェア方法の伝達・啓発

これなら、
出来そう！
シェアが
スムーズにできそう！

<課題認識>

- 男性が家事や子育てのための手法／アイデアが**点在**している
- 個人の主観／体験によるものが多く、男性にとっては説得力に欠けている可能性がある
- シェアは性別／世代を超えて行うケースが多いが、**立場が異なるが故に、理解しあえていないことが多い**（妻の男性理解不足により、夫のやる気を損ねているケースも）

<ソリューション>

シェアに特化した、家事・子育てバイブルを制作する

- ✓ 医学視点／脳科学視点(男女で違う脳)／世代の価値観視点／子育て研究視点等、**左脳情報(学術的知見やデータ)**と育児をシェアするための**右脳情報(アイデア)**を組み合わせ、シェアする人々の「関係性」をスムーズにする。

※ネットで検索できない情報量満載の本気の本気の1冊であることが望ましい。



画像：東京都防災HPより

5

参画の再きっかけ／次世代育成に 寄与する、“新習慣・文化”づくり

そんな
習慣・文化が
あったら
いいね！

<課題認識>

- 子どもが幼少期での参画を逃したり、専業主婦家庭では男性の参画の必然性が低く、**参画を逃したままになるリスク**がある。
- 男性の家事育児参画には、**中長期的な次世代育成の視点**は欠かせない。
- 共働き世帯の増加等、日本の世帯のあり方の変化に伴い、**当たり前として、母親がすべき行動として位置づけられていることの見直し**も必要となる。

<ソリューション>

✓ **企業と連携をして、新習慣・文化をつくろう！**

例： 朝ごはんは、小学生になったら自分でつくろう。（もちろん、パパも）
中学生になったら、お弁当は自分でつくろう。（例：栄光学園等）
金曜日は、夜は外食しよう。（プレミアムフライデー／カジュアルフライデー等）

再掲：気運醸成に必要なこと(全体像)

1

アジェンダの再セット
～加速に向けた宣言～

何か
新しく
動き始めた！

2

**男性の家事・育児参画の必要性・
理解浸透のための啓発**

なるほど！
参画する必要
あるかも！

3

男性自身への動機づけ

この波に
乗り遅れたら
まずいかも！

4

**家事・育児の
やり方やシェア方法の伝達・啓発**

これなら、
出来そう！
シェアが
スムーズにできそう！

5

**参画の再きっかけ／次世代育成に
寄与する、“新習慣・文化”づくり**

そんな
習慣・文化が
あったら、
いいね！

最後に:

「WLB2.0(仮)」宣言

「女性の活躍」も「男性の家事・育児参画」もスタンダードに！
そのために、
ICT技術を活用した柔軟な働き方の実現により、
より多様なワークとライフのあり方を皆で、創造していこう！

気運醸成

P1～38参照

企業／職場 制度・風土改革

- ✓ 「女性活躍推進」と共に、「男性の育休取得／家事・育児参画」を本気で取り組むことの徹底。
⇒従業員までの徹底
- ✓ 企業のチャレンジへの支援
(例:制度の本格導入前のテスト導入への補助金支援等)

インフラ／ 環境整備

- ✓ 子育て世帯の負担軽減
【夫婦間の情報共有への支援】
 - 保育園／幼稚園からの情報(お便り、連絡帳等)のデジタル化支援／補助金
- 【送迎／移動の負担軽減】
 - 保育園／駅における、駐輪場の整備および優先的な利用
 - 保育園送迎時／通院時の交通費／駐車場代／タクシー利用の補助
 - 自転車通勤／自家用車通勤の緩和(企業への要請)
- 【病児・病後児保育サービスの経費負担軽減】

このようなことが実現されると、
民間で実施されている
「女性活躍推進」「働き方改革」の動きと共に、
「男性の家事・育児参画」が
生活者にまでアジェンダがセットされ、
動きが1本でつながり、パワーを持つ。



男性の家事・育児がスタンダードにする気運を
加速させることができる

参考資料

参考：世代の意識・時代背景 等

年々、パパの家族意識は変化

	新人類・バブル世代	団塊ジュニア世代	ポスト団塊ジュニア世代	さとり世代
	1961-70年生まれ (現在46-55歳)	1971-74年生まれ (現在42-45歳)	1975-84年生まれ (現在32-41歳)	1985-94年生まれ (現在22-31歳)
家事／育児意識	女性の仕事	育児をする男性は カッコいい	共働きが主流 合理的な家事シェアを 夫も意識・実践	家事シェアは普通に？
時代背景	バブル景気 男女雇用機会均等法施行	学生時代にバブルを少し経験 バブル崩壊で就職氷河期	就職氷河期 中・高校で家庭科の男女共修	不景気
文化背景	Hanako創刊 女子大生ブーム ボディコンファッション、 トレンドドラマ流行	少年ジャンプ全盛 コンビニ、カラオケ普及	コギャル文化登場 ファミコン、たまごっちブーム ユニクロがブレイク	中高生でケータイを持つ SNS普及
特性	軽い 見え ブランド好き	自己最適化 自分らしさ好き	自己啓発 自分探し好き 上の世代の価値観に疑問 IT企業	高望みせず現実的 安定志向
消費の キーワード	見た目、高級感、 ワンランク上、 ブランド志向	所有することへの 希薄化始まる	堅実、本物感、 等身大、オーガニック	最低限、 ストーリー性、 話のネタになる

参考元：日経トレンディ、2016年3月
出典：電通パパラボ 作成

参考：世代の意識・時代背景 等

ポスト団塊ジュニア世代は、
2つに分けて捉えることも多い。

【生活者の価値観・行動に影響を与えた可能性がある、
ブーム・社会的出来事】

▼前ページからの抜粋

	ポスト団塊ジュニア世代 1975-84年生まれ (現在32-41歳)
家事／育児意識	共働きが主流 合理的な家事シェアを 夫も意識・実践
時代背景	就職氷河期 中・高校で家庭科の男女共修
文化背景	コギャル文化登場 ファミコン、たまごっちブーム ユニクロがブレイク
特性	自己啓発 自分探し好き 上の世代の価値観に疑問 IT企業
消費のキーワード	堅実、本物感、 等身大、オーガニック



	37-41歳 (75-79年生まれ)	32-36歳 (80-84年生まれ)
小学生期	83ファミコン発売 85スーパーマリオ 86ビックリマンチョコ	89個性化教育 91シックスポケット 90スーパーファミコン
中学生期	90スラムダンク	94完全・自殺マニュアル 97神戸児童殺傷事件 98エヴァンゲリオン
高校生期	91クラブ人気 92ポケットベル 93コギャル/ 援助交際 94家庭科男女必修	96アムラー(安室奈美恵) 96プリクラ大ヒット 98浜崎あゆみデビュー 99宇多田ヒカルデビュー 99iモード/着メロ
大学生期	94就職氷河期 94携帯電話自由化 95スノーボードブーム 97就職協定改定 97インターンシップ	00あいのり 未来日記
20代の頃	04ニート 00イチロー大リーグ デビュー 00スターバックス	09弁当女子、水筒男子 09ツイッター 09ファストファッション 09草食男子、肉食女子
30代の頃	07ワーク・ライフ・ バランス	10イクメン、育児男子 13妊活 13女性活躍推進

WLB第1世代

子どもができたらママが WLBを調整し、働く

WLBの第2世代

- 子どもができたら、ママもパパもWLBを調整して、働く
- ママもより活躍を。

出典：電通ババラボ&電通総研 作成/年齢は2016年時点

参考：共働きパパに着目した理由

		必然性		意欲		今後の ボリューム	波及 効果	判定
		家事	育児	家事	育児			
共働きパパ ママもフルタイム勤務 ／保育園通園	首都圏在住	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	地方在住	◎	◎	◎	◎	△	△	○
共働きパパ ママがパート勤務／ 幼稚園通園	首都圏在住	○	○	○	◎	○	○	○
	地方在住	○	○	○	◎	△	△	△
片働きパパ (専業主婦家庭)	首都圏在住	△	△	△	◎	△	△	△
	地方在住	△	△	△	◎	△	△	△
育休 経験パパ		妻の就業状況 による		◎	◎	○	◎	○

必然性／意欲／今後のボリューム／波及効果の視点から「共働きパパ」に着目

事例紹介:リクルートマーケティングパートナーズ

保護者と保育園をつなぐコミュニケーションサービス「kidsly(キッズリー)」



無料体験

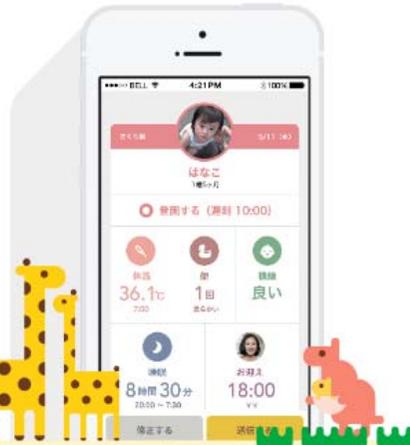
保育園向けログイン

資料請求・お申し込み

kidsly (キッズリー) とは?

保育士と家族のコミュニケーションが深まれば、
子育てはもっと豊かになる。
そんな思いから、kidslyは生まれました。

kidsly(キッズリー)は、保育にかかわる様々な業務を支援しながら、
保育園と保護者のコミュニケーションを深めるサービスです。
忙しい朝を助けてくれる「登降園管理」機能や、
子どもの様子がもっとわかる「連絡帳」や「フォト」機能、
非常時も安心な「個別連絡」機能などをご用意しています。
今後も便利で有益な機能を追加していく予定です。



kidslyでできること
kidslyの便利な機能

kidslyでできること
kidslyの便利な機能

登降園管理



園児の登園状況をシンプル管理!
園児の登園・遅刻・欠席状況を、毎日スマートに管理できる機能です。
朝の忙しい時間を、より有効に活用できます。

連絡帳



コミュニケーションが深まる!
毎日の園児の様子を保護者と共有し、園児の理解とコミュニケーションを深める機能です。
カンタンに書き込みができ、さらに多様な表現が可能です。

フォト



園児の元気な姿を保護者に共有!
保育中のさまざまなシーンを写真撮影して、保護者に送ることができる機能です。
保育の様子を写真で伝えることで、保護者の安心を醸成できます。

個別連絡



緊急連絡を確実に届けられる!
保育中にケガをしたり、体調を崩してしまったりと、緊急で保護者の方に連絡ができる機能です。
保護者が電話に出れない状況でも連絡ができます。

園からのお知らせ



園のお知らせを確実に伝える!
持ち物の連絡、災害時の連絡など、保護者に一斉連絡ができる機能です。
保護者に届けたい情報を、確実にかつスピーディに伝えることができます。

カレンダー



年間イベントをカレンダー表示!
1年間のイベントをカレンダー形式で表示し、保護者に前もって行事の連絡を伝えることができる機能です。
月ごと一覧表示ができます。

出典:リクルートマーケティングパートナーズ

<https://kidsly.jp/index.html>